

八幡地区《八幡まちづくり協議会》

1 地区の概況

八幡地区は、北上川の西側に広がる田園地域を中心としたコミュニティで、地区内をJR東北本線、国道4号バイパスが縦貫する緑豊かな地域です。

地区の中央部には旧国道4号線が通り、八幡保育園や八幡小学校、八幡振興センターがあります。

北部は石鳥谷総合支所をはじめ、消防署、医療センター、保健センター、JA、石鳥谷中学校、さらには道の駅、図書館、歴史民俗資料館、生涯学習会館、体育館、アイスアリーナなど、石鳥谷地域の主要機関や施設が集積しています。

また、長い歴史を持つ寺社や福祉施設も西部を中心に点在するほか、東部には工業団地、南部はいわて花巻空港に隣接し、交通環境に恵まれた地域です。そのなかで、水田や畑が八幡地区の景観を構成しており、北上川に注ぐ葛丸川などの河川が、地域にアクセントをつけています。立地する家々はえぐね(屋敷林)に囲まれたものもあり、比較的平坦な地域に豊かな田園景観が広がっています。

2 地区ビジョン 【八幡まちづくりビジョン】

(1) まちづくりの基本理念

次世代に引き継ぐ豊かな暮らしが実現できるコミュニティ

(2) 基本目標

① 自然環境や文化環境を生かしたスローライフの実現

八幡地区の豊かな自然環境や景観を維持し、文化環境を住民自身が楽しめるようなスローライフを実現します。スローライフとは地域にある資源をいかにしながら、ゆっくりと田園の暮らしを楽しみ、地域でとれる食材をそれぞれの家庭の食卓で味わうライフスタイルです。八幡地区はスローライフを実現する環境に恵まれた地域です。

こうした目標に関連する活動として、近年では、「田んぼアートプロジェクト」や「ビオトープ環境整備」が始まっています。さらに、平坦で比較的小さい八幡地区を歩いて楽しめるように、道しるべ、案内図、ルートマップを整備して、地区内や北上川沿いを散策しながら、地域の魅力を住民自身が味わうことができ、それが地区外からの集客にも結びつくようなまちづくりを目指します。

② 語らいと助け合いで豊かなコミュニケーションのあるコミュニティ

八幡地区には、古くから代々住み続けてきた方々と、新しく他の地域から移り住んできた方々がいます。交通環境が至便で、平坦な部分も多い八幡地区は、どの年代の方々が住んでも住みやすい地域です。その一方で、顔見知りでない方々やライフスタイルの異なる方々も増えてきています。

それぞれの世代や新旧の住民の間で気軽に語らう場をつくり、住民間のコミュニケーションを活発にしていけることが求められています。八幡振興センター及び11ある自治公民館や八幡小学校などなじみの施設を活用しながら、誰もが集えるまちづくりが大切です。語らいを通じて、住民相互で助け合っていけるような場やイベントを設けて、特定の世代や住民ばかりではなく、気軽に立ち寄れるコミュニティサロンのあるまちづくりを目指します。

③ すべての世代が安心して健康で希望をもって暮らせるコミュニティ

地域に住んでいるすべての老若男女が安心して暮らすことができ、それぞれの健康が維持でき、そして、すべての世代が希望をもって暮らせることが大切です。防災・防犯の観点からも、安心・安全を確立し、心身の健康を維持できるような体制をつくり、幼年期、青少年期、成人期、実年期、高齢期のあらゆる年代でも希望がもてる地域環境を実現していきます。

